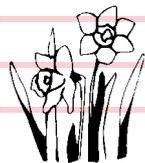


# おぢや

# 市議会だより



NO. 59

23.1.25

編集発行  
小千谷市議会  
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



## 小千谷市総合産業会館 サンプラザ

伝統産業会館と産業開発センターを併設し、小千谷市の産業と観光の一大拠点として昭和58年7月にオープンしました。

2階は縮・紬・仏壇などの伝統工芸資料や鉄工・精密機械・世界一の四尺玉の模型などの展示をはじめ、地場産業製品の販売及び観光の紹介、3階はパーティ、各種イベントなど、多目的に利用できるホールとなっています。1階では小千谷名物へぎそばや和・洋食が楽しめ、小千谷織物工房では織物体験もできます。

また、玄関前（駐車場側）には昨年の小千谷縮・越後上布世界無形文化遺産登録の記念碑が建立されました。

（小千谷市城内1-8-25 TEL 83-4800）

- 年頭のご挨拶 …………… P2
- 第1回臨時会・  
第4回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …………… P3
- 一般質問 …………… P4
- 行政視察報告 …………… P7
- 議会日誌 …………… P10
- 雪あかり、編集後記 …… P10

—主な掲載内容—

# 新年あけましておめでとーございます



議長 風間 順一

市民の皆様におかれましては、健やかなお正月を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、わが国のみならず世界中で異常気象が相次ぎました。夏の異常な暑さに続き、大雨の被害や、大型台風の影響。あの地震災害とは様相を異にしている、避難している住民の不安を考えると、とても他人事とは思えないものでした。早い復興を祈らずにはいられません。

異常気象のほかに口蹄疫の問題も、大きく国内を騒がせました。小千谷の角突きは、口蹄疫被害は出なかったものの、発生を防ぐため六月場所・七月場所の開催自粛を選択せざるを得ませんでした。今年

の九月には、全国闘牛サミットが小千谷市で開催されます。厄を払うよい年となるよう期待しております。

さて、今年の四月には、市議会議員の一般選挙が行われます。前回の選挙からもう四年も経つのかと、議会の活動を振り返っております。地方主権改革の流れの中で、議会の強化を図るとともに、望まれることも多くなっております。

当市議会においても、昨年は、議会内外に山積する問題について検討するための専門委員会を設けて検討を重ねました。本会議における一般質問での一問一答式の採用や、政務調査費の全面公開は、その検討結果の一つであります。五月に新しく、あるいは引き続き議場に座るであろう議員たちも、まだまだやるべきことは日々生まれております。皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

## 平成二十二年小千谷市議会 第一回臨時会 議決結果

### 条例の制定・改正

●小千谷市長及び副市長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 (全会一致)

●小千谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定 (全会一致)

●小千谷市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定 (起立多数)

### その他

●専決処分(平成二十二年度小千谷市一般会計補正予算(第三号)) (全会一致)

### 発議

●小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定 (全会一致)

第一回臨時会は十一月三十日

に開催され、八月の人事院勧告により国家公務員の給与に関する法律等が改正されたことに伴い、市長等、職員及び議員の給与・手当等を引き下げるための条例改正等が行われました。

## 平成二十二年小千谷市議会 第四回定例会 議決結果

### 条例の制定・改正

●小千谷市立保育所条例の一部を改正する条例 (全会一致)

●小千谷市へき地保育所条例の一部を改正する条例(起立多数)

### 平成二十二年予算の補正

●小千谷市一般会計補正予算(第四号) (起立多数)

●小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)(起立多数)

●小千谷市介護保険特別会計補正予算(第二号) (起立多数)

●小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号) (起立多数)

●小千谷市工業団地事業特別会計補正予算(第一号)(全会一致)

### その他

●定住自立圏形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について (全会一致)

●小千谷市副市長の選任について (賛成全員)

●小千谷市教育委員会委員の任命について (賛成全員)

●人権擁護委員候補者の推薦について (賛成全員)

●消費税の増税に反対し、食料品をはじめ暮らしにかかる消費税の減税に関する意見書提出を求める請願 (起立少数)

●米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書提出に関する請願 (全会一致)

●TPPの参加に反対する意見書提出に関する請願(全会一致)

●TPP交渉参加反対の意見書提出に関する請願 (全会一致)

●TPP交渉参加反対の意見書提出に関する請願 (全会一致)

## 発議

- 小千谷市議会委員会条例の一部を改正する条例（全会一致）
- 小千谷市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例（全会一致）
- 米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書（全会一致）
- TPP交渉参加に反対する意見書（全会一致）

## 三常任委員会報告

### 総務文教委員会

本委員会に付託されました案件は議案一件、請願一件であり、議案第百十一号については、三常任委員会の連合審査会といたしました。審査の結果を報告いたします。

- 議案第百十一号 平成二十二年小千谷市一般会計補正予算（第四号）について

主なものは人事院勧告による給与改定や農業基盤整備事業、商工業振興事業、観光推進事業等の負担金や補助金であります。歳入歳出それぞれ六百十三万一

千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百八十億七千四百二十六万八千円とするものであります。採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

- 請願第六号 消費税の増税に反対し、食料品をはじめ暮らしにかかる消費税の減税に関する意見書提出を求める請願について

表題の意見書を関係行政機関に提出していただきたいとするものです。

「請願者の心情は分かるが、国の財政を考えると歳入の道を閉ざすこととなり反対する。」との討論があり、採決の結果、起立少数により不採択とすべきものと決しました。

### 社会土木委員会

本委員会に付託されました議案五件について慎重に審査し、原案のとおり可決すべきものと決しました。

- 議案第百九号 小千谷市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、小千谷市立東保育園さくら分園において、平成二十

三年度の継続保育の希望がなかったことから閉園とするための改正であります。

- 議案第百十号 小千谷市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、休園中の東山保育園において、平成二十三年以降も一定以上の入園児童数が見込めないことから閉園とするための改正であります。

- 議案第百十二号 平成二十二年小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第二号）について

本案は、職員の人事異動及び給与条例の改定に伴う人件費の補正であります。

- 議案第百十三号 平成二十二年小千谷市介護保険特別会計補正予算（第二号）について

本案は、人件費のほか介護認定調査経費の増と介護従事者処遇改善臨時特例基金の精算、債務負担行為の設定による補正であります。

- 議案第百十四号 平成二十二年小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第一号）について

本案は、職員の人事異動及び給与条例の改定に伴う人件費の補正であります。

### 産業経済委員会

本委員会に付託されました議案六件及び請願三件を慎重に審査し、議案五件は原案のとおり可決、請願三件は採択すべきものと決しました。

- 議案第百十五号 平成二十二年小千谷市工業団地事業特別会計補正予算（第一号）について

西部工業団地にかかる財産売却収入の増額とこれに伴う長期償還金の増額による補正であります。

- 議案第百十六号 平成二十二年小千谷市ガス事業会計補正予算（第二号）について
- 議案第百十七号 平成二十二年小千谷市水道事業会計補正予算（第一号）について

○議案第百十八号 平成二十二年小千谷市工業用水道事業会計補正予算（第一号）について- 議案第百十九号 平成二十二年小千谷市下水道事業会計補正予算（第一号）について

以上四件の議案は、いずれも、人事異動及び制度改正に伴う職員人件費の補正であります。○請願第七号 米価の大暴落に

歯止めをかけるための意見書提出に関する請願について

米価の下落に歯止めをかけ、価格の安定をはかるため、国に対し過剰米を緊急に買い入れる等米価下落対策を直ちに講ずることを求める意見書を提出していただいたというものです。

- 請願第八号 TPPの参加に反対する意見書提出に関する請願について

○請願第九号 TPP交渉参加反対の意見書提出に関する請願について

両請願は同趣旨のものであり、一括して審査しました。関係機関等に対し環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）に参加しないことを求める意見書を提出してもらいたいというものです。

### 議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネット生中継でご覧いただけます。

URL

<http://www.city.ojiya.niigata.jp>

## 市政の内容を聞く

# 一般質問

一般質問が  
変わりました



市議会定例会における一般質問の再質問の方法が、一問一答方式に変わりました。総括質問、答弁の後、これまでは再質問・再々質問までとなっていました。第四回定例会

からは、五十分以内という制限はありますが、一問ごとに再質問・答弁を行い、回数を制限しないため、論点を明確にすることができず。

これは昨今の地方分権化に伴う議会改革のため、議会内に検討委員会を設け、一問一答方式や、政務調査費の公開などの改革を決定したものです。

### リバーイースト3棟 及び旭町教職員住宅 について

吉崎 進 議員

**質問** リバーイースト1、2、3号棟及び旭町教職員住宅を平成二十三年三月三十一日でJR東日本に返却することになっている。その結果、この建物四棟の管理はJR東日本に移る。この四棟の建物が残っている間、不審者が立ち入る可能性があり、事件、事故、火災等が起きることが無いと言い切れない。そこで、この建物の管理はどのようなにするのか。また、建物周辺の雑草の除草、及びJR東日本所有の土地の雑草の除草についてはどのようにするのか。



JR東日本は小千谷市との共生と言っているが、小千谷市はJR東日本とどのような話し合いを行ってきたのか、また、その結果について伺う。

**答弁** 市営住宅、教職員住宅として利用してきたが、中越地震災後入居者が激減したことや、四棟とも老朽化していることから、定期建物賃貸借契約期限の平成二十三年三月三十一日をもって返還する予定で、事務手続を進めている。返還後の当該施設の管理について平成二十二年六月二日に打ち合わせを行った。その中で、防犯対策については、出入口の施錠や敷地周囲にフェンスを廻すこと、要請があれば草刈りも実施するとの回答を得ている。いずれにしても、返還後の建物や土地の実情にあわせて、防犯対策や草刈り等の必要な措置を講じてもらうよう、

改めてJRに要請したいと考えている。

### 国保引き下げ、住宅リフォーム助成等

風間 健一 議員

○国保引き下げについて

**質問** 市民は支払能力をはるかに超える高い国民健康保険税に悲鳴を上げています。「構造改革」や格差と貧困の拡大で、収入の減少、失業者や非正規労働者の国民健康保険への加入などによって、国保加入世帯の平均所得は下がる一方で、「国保の貧困化」が進んでいます。

国保は被保険者同士の「相互扶助」で成り立っているのではなく、憲法二十五条の生存権にもとづく社会保障です。国に国保への国庫負担の増額を求めると同時に、小千谷市も『住民の福祉の増進を図る』立場から、

市民の命と健康を最優先で国保税を一人当たり一万円引き下げて頂きたい。

**答弁** 一万円の引き下げは九千九百円の減収となり、再び赤字体質となるため考えていません。

○住宅リフォーム助成制度

**質問** 私は平成二十二年第一回定例会で、住宅リフォーム助成制度の創設を求めて一般質問をしました。再度とりあげます。

住宅リフォーム助成制度は少ない助成で大きな経済効果をもたらすことを特徴としています。県内では、十一市町村が実施しており、柏崎市は一般会計からも繰り入れて、補助の限度額を二十万円としています。住宅リフォーム助成制度は抜群の経済波及効果を持っていますから、地域内経済循環の大きな起爆剤となることは間違いのないと思います。小千谷市も助成制度の創設をお願いします。

**答弁** 来年度実施に向けて検討します。

### 保育行政、病院統合 問題等について

佐藤 隆一 議員



○未満児保育について

**質問** 未満児保育（三才未満）

の需要増加に対応して、①施設整備、職員配置基準見直し、保育料金の軽減をどのように行うか。②さくら保育園閉鎖後の施設をどのように活用するか。

**答弁** ①平成二十三年は、前年比ゼロ才児・七名増、一才児・九名増、二才児・一―三名増です。二才児以上の部屋をゼロ、一才児用に改修するなどに対応します。また、一才児を中心に職員配置基準を見直す予定で、臨時職員の配置を含めて見直しは行わない。②さくら保育園の施設利用は、地元要望をふまえて検討したい。

○病院統合問題について

**質問** 病院統合について協議会の議論の現状と今後の見通しについていかがいます。

**答弁** 協議会では、両団体の内部事項について調整しており、



「課題は積み残さず、十分な時間をかけて協議する」ことが大切ですが、内容は明らかにできません。小千谷市として何ができるか考えています。

○夢の架け橋基金について

**質問** 夢の架け橋基金は、寄附

が二百六十万円（廿二十年、九件）、二十万五千元（廿二十一年、四件）、三十二万円（廿二十二年、八件）としりすほみとなつています。原因と対策、今後の方向についていかがいます。

**答弁** 寄附をしたいと考えていた人達が一巡し、関心がうすれてきたためと考えています。今後も現在のメニューを継続していきたいと考えています。

### 都市基盤・都市施設の整備について

山賀 一雄 議員

**質問** 市長は、先の選挙戦で五つの約束を訴え、まちづくり

取り組むとしている。その施策の一つ「安心安全のまちづくり」に関連して、面的整備を含めた都市基盤・都市施設の整備計画についてどのように考えているのか。①都市計画道路整備につ



いて、特に、整備率の低い都市計画道路、例えば、変更後の本町小栗田線の平沢交差点以北の整備、西小千谷環状線の千谷川交差点以遠、いわゆる千谷島地内の整備、東栄元中子線の延伸整備、片貝環状線など、これらの路線を県への事業要望等を含めて、どのように整備されるのか。②東小千谷地区の面的整備については、都市計画道路津山山本線沿線の宅地化あるいは旧アイリータウン跡地の住宅団地整備など、部分的に進んではないが、土地区画整理事業として取り組もうとした区域はそのままである。新たなまちづくり方策の検討が不可欠としながらも、信濃川右岸改築事業の完了による沿線街区の変化や都市計画道路東栄元中子線の整備が進んで

いる。これらの事業進捗と併せて面的整備をどのように進めるのか。③防災機能をもった公園や緑地の整備について、旧北陸農業試験場跡地を利用する防災公園・防災まちづくり拠点施設等、取得状況を含めて整備計画の進捗状況はどうか。

**答弁** ①本町小栗田線は長岡市を結ぶ重要路線であり、早期改良を県へ要望している。西小千谷環状線千谷バイパスは二十三年度から残りの用地取得を行い、取得完了後、工事に入るとのこと。東栄元中子線の延伸整備区間は、中止した土地区画整理事業区域となることから、用途地域指定も含め東小千谷地域のまちづくりとセットで検討する。片貝環状線について、市施工分を二十三年度用地取得し、二十四年度から二カ年で工事の予定である。長期未着手路線については廃止を含めた見直しをする。②県と鋭意協議を進めているが、小千谷市として今後、どのようなまちづくりを進めるのが最大の課題で、それに沿った都市計画変更が必要であり、見直しを進めている都市計画マスタープランに反映させる。③中越大震災以降の厳しい財政状況等を

### 三洋工場の増員及び公園祭り復活で

西沢 代三 議員

**質問** 三洋半導体製造新潟工場

のオン・セミコンダクター社への譲渡が七月に決定した。①譲渡は契約通り実行されるのか。②職員急増対策はどうか。③地場産業との競合面での調整はあるのか。

**答弁** ①特別の課題もなく予定通り進んでおります。②職員は四百名程度の増員との事であり、現在五ライン中三ラインが稼動していますので、遊休の二ラインの再稼動によって増員分は吸収できるものと見られており調整はありません。

**質問** 中越大震災以降、船岡公園春まつりは、千谷工業団地内に会場を移行しているが、伝統の丘、船岡公園に復活すべきである。その実現を果たす事が震災復興の真の姿であり、早期復活が市民の声である。



**答弁** 主催各代表者会議で対策を協議した結果、五月八日を船岡公園まつりとする事になりました。しかし、千谷工業団地はサクラや駐車場等が整っており、期間中の混雑を回避できる環境ですので継続して実施することになりました。

**質問** 巨大な八海石で知られている船岡公園南端の大道長安仁者墓碑であるが、震災復旧中に八海石が行方不明になったので、有志により、別の石を代りに、現地に改葬された。貴重な文化財であり、調査すべきだ。

**答弁** 大道長安碑再建する会を結成、二十年秋に復原しました。県外では盗難が多発しているようですが、明治時代の歴史を知る上で欠かせない文化的価値があるものと理解しております。文化財の管理には市民の協力を得て、調査、協力しなければならぬと思います。

## 民生委員制度の見直しと森林資源の活用

駒井富士夫 議員

**質問** 今夏の暑さの中、各町内会長さんは民生委員の選出に大変ご苦労されたと聞く。

生活保護を含む民生、高齢者世帯の見守り、子供一〇番、独り暮らしの介護まで多岐にわたる活動はまさに「福祉」の第一線である。

「名誉職」として、昭和二十一年民生委員として従来の方面委員が市町村におかれてから、人口、仕事内容とも大きく変化していることから制度の見直しが必要とされるのではないか。

新潟日報「私の視点」という欄に今秋「民生委員は有給へ見直し」という主張が掲載されました。論旨は、民生委員法第十条の「無給」を「有給」へとすべきと指摘、町内会長に人選を委ねる「待ちの姿勢」から市町村が主導的役割を果すべきとするもので私も同感であります。

**答弁** 当市は民生委員は定員を満たすことができました。一部において推薦に苦慮したと伺っており、必要な町内には職員が

出向き、町内会長さんと協議させていただきました。

活動に要する実費程度支給は必要であり支援してゆきたい。

**質問** 市長が今回の立候補に際して公約した「カーボンオフセット事業」について。

**答弁** CO2量を市場で販売する制度で、森林の間伐実績に基づき民間の検証機関による認定を受ける必要があります。これに一〇〇万円程度が必要であり、まとまった面積の間伐実績がないと経済的にメリットは生まれません。

当面、課題を整理し、研究を進めることとします。

## 自立の検証と展望について

中山 俊雄 議員

**質問** 市町村合併では、本市は自立の道を選んだ。現時点での自立で良かった理由について。

**答弁** 合併により失われることが懸念される豊かな自然・歴史・伝統・文化などの地域資源が失われることなく、顔が見える形で市民と協働して活力あるまちづくりが進められていることは、

良かった点と考える。

**質問** 本市の経常収支比率は、九十二・五%と高くなっている。財政構造を改善しなければならぬのではないかと。

**答弁** 経常一般財源の根幹を成す税収を増やすための施策の実施と経常的経費の削減の両方に取り組み必要がある。

庁内でも検証する作業を進めており、弾力的で持続性のある財政構造への改善に向け取り組んでいる。

**質問** 本市には優れた業績のある企業が多くある。今後は、医療・福祉サービス・飲食・教育など地域の人口集積に関連する産業の育成に期待をかけ、取り組みを展開することが重要と考えるが、お考えを。

**答弁** 中心市街地へ集積することで経営効率が高まるとともに、中心市街地の活性化にもつながると考える。市全体で最適な均衡を図りながら計画を推進する必要はある。

**質問** 文化を蓄積し、継承する場所として、また、農村部との交流の場として存在し続けてきた中心市街地での人口増加をもたらすような住宅政策の実施が重要と考えるが。

**答弁** 都市計画マスタープランの中で、まちづくりの在り方や既存建物の活用などを検証し、街なか居住の推進策について検討してまいりたい。

## 小千谷市の農業施設と南部地区小学校の統合問題について

田中 淳 議員

○小千谷市の農業施設問題について市長に問う。



**質問** ①小千谷市の田んぼダムの取組み状況について。②農業水利施設を利用した小水力発電の導入について。③土地改良事業のストックマネジメントの必要性について。

**答弁** ①現在、山吉土地改良区

と「田んぼダム」実施に向けて、協議、検討を行なっている。②現在、当市における小水力発電の導入は難しいと考える。③比較的新しい考えであるが、今後、各管理主体と連携して施設の状況を把握しながら、長期的なストックマネジメント計画について検討していく考えです。

○南部地区小学校の統合問題について市長と教育長に問う。

**質問**

①小学校の増築棟や耐震化改修工事での小千谷市発の製品のPRや地元農作物の地産地消を積極的に図るべきと考えるが

②学校経営の戦略の必要性として、当該校での裁量の権限の拡大について

③小中併設型の連携校において、義務教育におけるの学校長の二人制度の必要性について

**答弁**

①当市の産業の育成の面からも行政の大事な役割であると理解している。可能な限り地元産製品を使用しPRに努めたい。

**教育長答弁**

②四校統合による校舎一体型の小中連携校となっても、裁量権が今よりも拡大するとは考えていない。

③「校務を司り、所属職員を監督する」と定められている。小・中学校は独立した義務教育が実施されることから、校長は小・中学校それぞれに必要であると考えます。

**TPPの影響・農業委員会とTPP・有害鳥獣**

安達 稔 議員

○TPPの地域社会への影響

**質問**

①農水省試算によれば食料自給率は40%から14%に低下、農水産物の生産額は四兆五千億ほど減少、多面的機能は三兆七千億喪失、関連産業への影響は八兆四千億減少、三百四十万人が就業機会を失うとの試算。国民生活の根幹にかかわる。市長の見解を問う。

②市の総合計画との整合性は。③カリフォルニア米の価格は魚沼米の五分の一、成り立つのか。④雇用の喪失は。⑤食料安全保障に関わるが。⑥地盤沈下の懸念は。⑦多国籍企業の逆輸入は。⑧農地が失われた場合は。⑨農水省の試算を当市に当てはめるとどうするか。

**答弁**

①国民的議論を行って判断しなくてはならない。②参加なら計画を見直さなくてはならない。③米農家の経営は成り立たない。④アジアから安い労働力が入り雇用が失われる。⑤有事の際など危惧される。⑥あると思う。⑦安い製品の輸入が増え、生産活動の衰退に繋がる。⑧集落の存立が危惧される。⑨当市の農業と多面的機能の喪失は総額四十八億円と試算される。

○農業委員会の活動とTPP

**質問**

①TPPと言う言葉はいつから論じられたのか。②これまでの活動からどう捉える。③委員会としての見解はどのようか。

**農業委員会会長答弁**

①十一月初め、大変唐突。②耕作放棄地が増加する。③JA越後おぢや等と連携し、断固阻止の決意。

○有害鳥獣について

**質問**

①野生鳥獣の生息分布が急拡大。状況は。②今後の対策は。

**答弁**

①河鵜、猪、猿、ハクビシン、熊は目撃情報として十二件。②被害防止計画の作成を検討する。

**行政視察報告**

**総務文教委員会**

平成二十二年十月十九日  
～二十一日  
まちづくり公募補助金について

**大分県国東市**

この事業の経緯は、合併市のこれといった特徴も無い国東市の将来を考え「まちづくり」の必要性を痛感し、リーダーの養成が必要との結論に至り、講師を招いて学びやワークショップを行い「未来塾」と名付けた。これが企画立案を行うまでになり、三年目で標記の事実に至ったもの。

地域社会の課題はますます複雑化し、それらに対応するためには、市民自らが活性化し、主体となって地域社会を支えていくシステム作りが重要であり、その一つが公募型補助金制度で

ある。市民意識や地域の実情に即して自主的、自発的に公益的活動を行う団体に対して補助金を交付し、その取り組みを支援する。

**補助金対象事業**

地域活動に資する事業

**補助金対象金額**

補助金額は、補助対象経費の四分の三以下で上限は十五万円。

**審査方法**

①審査委員会が応募書類及びプレゼンテーションにより審査し、市長に報告する。

②市長は、委員会の審査結果を尊重し、補助金の交付決定をする。

**所感**

この「まちづくり公募事業補助金」制度システムについて感心したのは、①前段で広く県外から指導者を招いて、各地でま



ちおこしや地域おこしの勉強をしたこと。②プレゼンテーションの審査委員に市外の多方面の人をいれ、視野を広げたこと。③プレゼンテーションをすることにより発信能力を高めたこと。④市内各地で競争的に活力が生まれる素地ができたこと。⑤事業の名前の割には予算的に少額で済んでいること等である。

課題として感じたことは、二年目には応募がかなり減ってきたことである。事業の見直しも必要になってくるのかなとも感じた。

## 全国市議会議長会研究フォーラム in 大分



このフォーラムは、全国の市議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行い、地方分権の

時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的に開催している。

第五回の今回は、大分市において二日間にわたって開催された。前衆議院議長河野洋平氏の基調講演、パネルディスカッション、意見交換会、課題討議と内容は盛りだくさんであった。

パネルディスカッションと課題討議を聴いて

地方議会のあり方については、地方議員を見つめる市民の目を意識しての発想が多いと感じた。定数や報酬のあり方も多様でいいのではとの発言もあった。専決処分を連発したりして議会と対立する首長、有識者にもある

地方議会無用論、見えにくい議会の役割なども指摘されていた。政治倫理条例については、か

ほく市と佐賀市の両議会議長から制定した経緯等が発表された。議員の行動を自ら律することの条例制定には議員間で抵抗もあったが決めた。市民の信頼も増すとの考えだとのことだった。

議会の調査権については、稲城市議会議長からは常任委員会の所管事務調査について、委員会のあり方を規定し、調査活動をし、報告書あるいは議案とし

て議会に提案するシステムとのこと。

飯田市議会議長からは行政評価システムについて報告があった。市の行政評価システムの中で議会の担う役割をしっかりと決めて参画し、それを決算審査や次年度以降の政策立案・施行に役立てて行こうとするもの。議員の能力向上と行政と議会の両輪がうまく回り、結果として市の発展につながると感じた。

## 社会土木委員会

平成二十二年七月十三日

十五日

### 「コホートピア構想」と「もい健康の駅」について

北海道留萌市

コホートピアとは、コホート研究とユートピア（理想郷）の新語であり、人々の生活習慣や検診の結果を記録し、特定の習慣が病気とどうつながるのか、病気を防ぐためにどんな改善をおこなえばよいのかを住民の協力を得て行う研究である。

これを行うために「るもい健康の駅」が平成二十一年七月に設立された。建物の一階には事



### 風力・太陽光発電施設について

北海道稚内市

日本最北の地で、クリーンエネルギーとして風力発電に注目した。年間を通して風が強く、通産省の外郭団体である新エネルギー・産業技術総合開発機構の「風力開発フィールドテスト事業」の採択を受け、平成七八年度の二年間、稚内公園内で風況調査を行い、年間平均風速が毎秒七メートルとの結果を得た。現在七十四基、七万六千三百五十五キロワットの発電量で稼動しており、発電された電力のほとんどは北海道電力を通じて一般家庭に供給されている。

太陽光発電に関しては、積雪、寒冷、強風で気象条件が厳しい反面、広大な土地を有した地域であり、今後大規模太陽光発電システムを実用化する上で、モデルとしてふさわしい条件を備えている。現在、大規模な太陽光発電パネルが積雪を考慮し、設置さ



れ実証実験が行われている。

## 産業経済委員会

平成二十二年十月四日～六日

### 定住化基本構想について

熊本県玉名市

平成十七年合併以来、毎年五〇〇人の人口減少に悩む市は県とも協議する中で、平成十九年三月に「玉名市定住化基本構想」を策定しました。

定住化に向けた三本柱は、

- 一、定住のまち
- 二、交流のまち
- 三、雇用のまち

として、市民・観光客・移住希望者等の土地や家屋の購入希望者に対して、市役所に総合窓口を設置してスピードをあげて推進しようというものです。



玉名市の特色を活かしながら、新幹線対策として、通勤、通学の補助、駐車料金の助成等を予算化しようとしています。

県北の玄関口、玉名・小天温泉を有する玉名市も通過駅とならないよう努力中でした。

### エコタウン事業について

福岡県大牟田市

有明海に面する人口十三万人近い大牟田市は三池炭鉱で知られ、石炭から石油への転換で新しい産業構造が求められた。

その中心に位置づけられたのが、平成十年七月に全国で五番目に国から承認された、「大牟田エコタウン事業」である。

事業内容は

- ・大牟田リサイクル発電所
- ・大牟田リサイクルプラザ
- ・大牟田エコリサイクルセンター
- ・環境・リサイクル団地

・企業化支援施設

などで、多彩な事業が推進されている。中心は大牟田リサイクル発電所で、RDF（ゴミ固形燃料）発電事業で、発電能力は二万KWで八割を売電し、一〇億円を売り上げ、一日三一五トンの可燃ごみを処理する能力を持っている。

中古自動車の分解リサイクル、油化事業、建設廃棄物、パソコンのリサイクル等リサイクル事業に取り組みを拡大しているがリサイクル団地の分譲率四割強である。



## 議会運営委員会

平成二十二年十一月二十五日

### 議会運営について

長野県大町市

当委員会では、議会活性化を目指して先例集の見直しについて検討委員会を立上げ、九回に及ぶ会議を経て、その素案を議長に提出した。その中心が一般質問の「一問一答方式」の十二月議会からの採用で、その研修に先進市の長野県大町市を訪れた。

大町市では「市民に身近な、開かれた議会」を目的に議会改革に取り組み、平成十九年度より「一問一答方式」を採用、試行錯誤しながら今日に至っていると説明された。

四回の定例会のうち、十二月議会は次年度予算に市民の要望を訴えるとして、会派による代表質問が行なわれ、他の三回の定例会に「対面型一問一答方式」か「対面型一括質問方式」を議員が選択して一般質問を行なう。質問時間は二十分とし、答弁を合せて五十分以内として、再質問を繰り返す。

所感 不況の中、市民からは議員数（二十人）や歳費の削減に目が向けられているが、議会は市民に目を向けて一体感を抱かなければならないことや、住民益を求めなければならないとい



う、八木議会運営委員長の言葉に胸を打たれた。議員としての政策立案能力が求められていることを感じた。

### 会議録の閲覧

市議会本会議の会議録（平成15年第1回定例会以降）は市ホームページからご覧いただけます。ただし、平成22年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

### 第1回定例会開催予定

2月25日(金)	第1日	議案上程説明
3月15日(火)	第2日	一般質問
3月16日(水)	第3日	一般質問
(質問者が多い場合に開催)		
3月18日(金)	最終日	委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、議会傍聴については議事事務局（TEL83-3505）へお問い合わせください。

# 議会目録

10月～12月

## ＜10月＞

- 4日 産業経済委員会行政視察  
に出発（熊本県玉名市・福岡県大牟田市）
- 5日 静岡県伊豆市議会行政視察に來市
- 6日 茨城県石岡市議会行政視察に來市
- 7日 議会報編集委員会
- 13日 議会先例検討委員会
- 14日 議会報編集委員会
- 18日 中越地区市議会議長会（十日町市）
- 19日 総務文教委員会行政視察に出発（大分県国東市・大分市）
- 岡山県笠岡市議会行政視察に來市
- 一般国道一一七号改良促進期成同盟会総会（十日町市）
- 21日 千葉県八街市議会、群馬県高山村議会行政視察に來市
- 22日 議員協議会
- 23日 中越大震災六周年
- 27日 議員全員協議会
- 議会改善事項市長に申し入れ
- 社会土木委員協議会

## ＜11月＞

- 27日 福島県大玉村議会行政視察に來市
- 28日 島根県益田市議会行政視察に來市
- 3日 小千谷小学校改築竣工式
- 5日 三重県松阪市議会行政視察に來市
- 7日 小千谷市長選挙告示
- 9日 茨城県土浦市議会行政視察に來市
- 14日 小千谷市長選挙投票日
- 17日 議会運営委員会
- 社会土木委員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 議会運営委員会行政視察に出発（長野県大町市）
- 29日 小千谷市長谷井靖夫氏再任第一回臨時会
- 30日 総務文教委員会
- 1日 議会運営委員会
- 8日 第四回定例会（本会議）
- 議会報編集委員会
- 9日 三常任委員会連合審査会
- 10日 総務文教委員会
- 13日 社会土木委員会
- 14日 産業経済委員会
- 21日 議会運営委員会
- 本会議（第二日）
- 22日 本会議（第三日）
- 議会報編集委員会
- 24日 議会運営委員会
- 本会議（第四日）

## ＜12月＞

- 1日 議会運営委員会
- 8日 第四回定例会（本会議）
- 議会報編集委員会
- 9日 三常任委員会連合審査会
- 10日 総務文教委員会
- 13日 社会土木委員会
- 14日 産業経済委員会
- 21日 議会運営委員会
- 本会議（第二日）
- 22日 本会議（第三日）
- 議会報編集委員会
- 24日 議会運営委員会
- 本会議（第四日）



41



久保田 哲夫（土川）

長岡に柿川という長岡城の壕でもあった一級河川が、中越地震で護岸石積みが二メートル以上崩落した。この箇所を毎日目にしているが、震災後三年程たつて修理された。災害復旧工事だと思つたら復旧してない。工事は完了。石積みは復旧している。三メートル位の高さで、水深は浅いが崩落により川幅一〇メートル弱のため流れが狭まり、ゴミはたまり、雑草が繁っている。何故といえば、崩れた数十個の旧岸壁の石と土砂のせいだ。

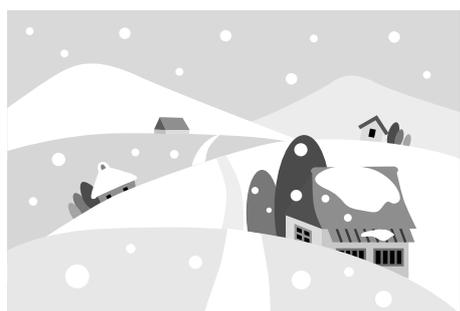
石積みを新しくしただけで完工だったのだ。いつまでかかるのかと市や県に問い合せたら、県の係や課と県議会議員まで来て視ただけで、係の答えがふ

るっている。「増水すれば流失すると考えられますし、当面危険がある状況ではないので」だとさ!?

その後、増水はあるが、護岸満杯ということはないから、土砂の新しい領地は冠水しても変化なし。変つたことと言えば、小魚が見えなくなったことと、カモの番がよく飛来することくらいだ。

勤ぐれば、その次の公共事業に取り置きかとも。

公共工事のずさんさを目の当たりにした次第。「議員や公務員」の方々、貴方達も住民であり、納税者であることを忘れてないで欲しい。



# 編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

年末から年始にかけて、冬型が強まり、大雪になるとの予報ははずれ、過ごしやすいう三が日となりました。その後、強い寒波に覆われ、毎日寒い日が続いております。予報によると、この寒波は一月いっぱい日本上空に居座るとのこと。今後も雪の降り方には注意が必要と思われまふ。

この寒さでインフルエンザが発生しております。まだ流行とはなっていないようですが、くれぐれも注意して下さい。外出後の手洗い、顔洗い、うがいと快食、快眠が予防になると聞いております。

議会の一般質問の方法が、この第四回定例会から変わりました。今までは最初の質問後、再質問は二回まででした。今回から最初の質問を含めて五十分以内であれば、何回でも再質問ができます。この制度により、より深い議論ができるようになりました。